

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場取引所 東大

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大宮 久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR室長 (氏名) 松崎 修一郎
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	45,290	—	950	—	1,156	—	765	—
20年3月期第1四半期	45,281	△3.5	792	434.0	1,030	192.7	360	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	3.55	—
20年3月期第1四半期	1.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	200,107	—	109,540	—	48.4	—	450.95	—
20年3月期	207,843	—	113,273	—	48.1	—	462.00	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 96,895百万円 20年3月期 99,969百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	8.50	8.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	8.50	8.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	91,200	—	1,900	—	2,100	—	1,100	—	5.11
通期	194,500	1.4	8,600	1.1	8,700	△4.6	4,700	0.9	21.85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 217,699,743株 20年3月期 217,699,743株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 2,830,578株 20年3月期 1,313,548株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 215,627,782株 20年3月期第1四半期 216,433,016株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 平成20年5月13日発表の連結業績予想の見直しは行っておりません。なお、自己株式数の変動に伴い1株当たり当期純利益につき変更しております。上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ「定性的情報・財務諸表等3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結売上高は酒類・調味料セグメントは前年同期比微増となりましたが、バイオセグメントが若干の減収となりましたので前年同期比100.0%の45,290百万円となりました。売上総利益は、原材料価格の高騰の影響を受け前年同期比99.2%の17,128百万円となりましたが、販売費及び一般管理費の削減により営業利益は前年同期比119.9%の950百万円、経常利益も同112.2%の1,156百万円とともに増益となりました。特別損益では、前年は係争和解費用などがありましたので、前年同期比212.1%の765百万円と大幅な増加となりました。

事業の種類別セグメントの業績概要及び品種別販売実績（外部売上高）は以下のとおりです。

（酒類・調味料セグメント）

酒類・調味料セグメントでは、各種食料品・生活必需品の値上げにより消費者の買い控えが進むなか、焼酎、ソフトアルコール飲料、原料用アルコールは増収となりましたが、清酒が減収となり、セグメント全体の外部売上高は前年同期比101.1%の37,692百万円、セグメント売上高は同100.8%の37,954百万円となりました。利益面では、原材料価格高騰の影響もあり売上総利益は減少となりましたが、販売促進費の圧縮により販売費及び一般管理費が減少したため、セグメント営業利益は前年同期比135.0%の1,144百万円となりました。

（バイオセグメント）

バイオセグメントでは、遺伝子工学研究分野における理化学機器減少の影響が大きく、外部売上高は前年同期比92.5%の3,824百万円、セグメント売上高は同93.6%の3,986百万円となりました。利益面では、売上原価が売上高減少に伴う減少やコストダウン等により減少したため、売上総利益は同99.2%の2,211百万円となりました。販売費及び一般管理費は、販売促進費や管理費の増加に加え、のれん償却費の増加等により前年同期比103.6%の2,344百万円となりましたので、営業損失は132百万円（前年同期比98百万円減益）となりました。

（物流セグメント）

物流セグメントでは、燃油費の高騰を転嫁することができず大変苦しい状況が続いているなか、外部売上高は前年同期比104.1%の2,169百万円と若干の増収となり、セグメント売上高も前期比103.3%の4,068百万円となりました。しかしながら軽油価格の高騰により売上総利益は前年同期比80.8%の258百万円となり、販売費及び一般管理費の削減に努めましたものの、セグメント営業利益は同69.4%の73百万円に止まりました。

（その他セグメント）

その他セグメントの外部売上高は前年同期比90.8%の1,603百万円、セグメント売上高は同93.0%の2,878百万円となり、セグメント営業利益は同51.7%の18百万円となりました。

品種別販売実績

事業の種類別セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	前年同期比
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
酒類・調味料			
焼酎	18,865	19,248	102.0
ソフトアルコール飲料	4,782	4,998	104.5
清酒	4,415	3,958	89.7
その他酒類	2,591	2,666	102.9
酒類計	30,655	30,872	100.7
本みりん	3,819	3,727	97.6
その他調味料	1,314	1,389	105.7
調味料計	5,133	5,117	99.7
原料用アルコール等	1,100	1,296	117.7
その他	406	406	100.0
計	37,296	37,692	101.1
バイオ	4,134	3,824	92.5
物流	2,083	2,169	104.1
その他	1,767	1,603	90.8
合計	45,281	45,290	100.0

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は200,107百万円となり前連結会計年度末に比べ7,736百万円の減少となりました。その主な要因は、短期資金の運用として保有していた有価証券（国内譲渡性預金）10,000百万円の減少によるものです。負債では1年内償還予定の社債の償還5,000百万円などにより負債合計で4,003百万円減少となり、純資産では配当などによる利益剰余金の減少や株主還元策としての自己株式の取得、円高による為替換算調整勘定の減少などにより3,732百万円の減少となりました。

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,324百万円や減価償却費1,216百万円などがありましたが、法人税の支払額△2,692百万円などにより△437百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは定期預金の預け入れ△1,358百万円などにより△1,235百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは社債の償還△5,000百万円、自己株式の取得による支出△1,125百万円、配当金の支払額△1,404百万円などにより△7,526百万円となりました。以上の結果、当四半期末の現金及び現金同等物の残高は32,825百万円と前連結会計年度末に比べ9,525百万円減少いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月13日に公表いたしました業績予想は、株主還元策として実施した自己株式の取得（150万株）の結果、1株当たり当期純利益の変更を行ったほかは見直しを行っておりません。なお第1四半期の営業利益等の進捗状況は期初見込を若干上回っておりますが、当社グループは第1四半期の比重が比較的低いため、上期及び通期の業績予想に与える影響は軽微であります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
記載すべき事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 - ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
 - ② 当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を適用し、評価基準について収益性の低下に基づく簿価切下げの方法に変更しております。また本会計基準の適用を契機に、一部の国内連結子会社で従来営業外費用で処理しておりました原材料廃棄損を売上原価で処理することといたしました。これらの変更により、従来の方法によった場合に比べ、営業利益は59百万円、経常利益は3百万円、税金等調整前四半期純利益は98百万円それぞれ減少しております。
 - ③ 当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用し、連結上必要な修正を行っております。これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ31百万円減少しております。
 - ④ 当第1四半期連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を早期適用しております。これにより従来賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていた所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち当四半期以降契約分より通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。この変更により損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,670	26,529
受取手形及び売掛金	47,073	46,990
有価証券	8,320	18,132
商品及び製品	20,971	20,575
仕掛品	1,095	1,420
原材料及び貯蔵品	2,827	3,100
その他	5,705	4,209
貸倒引当金	△159	△160
流動資産合計	113,503	120,796
固定資産		
有形固定資産	46,268	47,341
無形固定資産		
のれん	2,259	2,930
その他	2,925	3,630
無形固定資産合計	5,184	6,561
投資その他の資産		
投資有価証券	28,016	26,122
その他	7,535	7,427
貸倒引当金	△400	△405
投資その他の資産合計	35,151	33,144
固定資産合計	86,604	87,047
資産合計	200,107	207,843
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,022	14,301
短期借入金	4,964	4,964
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払酒税	7,922	7,784
未払費用	3,085	4,475
未払法人税等	1,041	2,287
賞与引当金	3,022	1,985
その他の引当金	1,672	1,490
その他	6,210	5,316
流動負債合計	42,943	47,607
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	5,714	5,718
退職給付引当金	8,902	8,899
長期預り金	6,593	6,639
その他	6,413	5,705
固定負債合計	47,624	46,963
負債合計	90,567	94,570

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,204	3,204
利益剰余金	76,048	77,342
自己株式	△2,137	△1,011
株主資本合計	90,341	92,761
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,849	6,679
繰延ヘッジ損益	△17	△46
為替換算調整勘定	△1,278	575
評価・換算差額等合計	6,554	7,208
少数株主持分	12,644	13,303
純資産合計	109,540	113,273
負債純資産合計	200,107	207,843

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	45,290
売上原価	28,161
売上総利益	17,128
販売費及び一般管理費	
販売促進費	5,521
販売促進引当金繰入額	1,656
賞与引当金繰入額	590
その他	8,409
販売費及び一般管理費合計	16,177
営業利益	950
営業外収益	
受取配当金	247
その他	173
営業外収益合計	421
営業外費用	
支払利息	153
その他	61
営業外費用合計	215
経常利益	1,156
特別利益	
固定資産売却益	282
その他	9
特別利益合計	291
特別損失	
たな卸資産評価損	95
その他	27
特別損失合計	122
税金等調整前四半期純利益	1,324
法人税、住民税及び事業税	1,020
法人税等調整額	△416
少数株主損失(△)	△43
四半期純利益	765

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,324
減価償却費	1,216
受取利息及び受取配当金	△310
支払利息	153
売上債権の増減額 (△は増加)	△477
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△465
仕入債務の増減額 (△は減少)	879
未払酒税の増減額 (△は減少)	139
その他	△453
小計	2,005
利息及び配当金の受取額	352
利息の支払額	△103
法人税等の支払額	△2,692
営業活動によるキャッシュ・フロー	△437
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,358
有形及び無形固定資産の取得による支出	△607
有形固定資産の売却による収入	487
その他	243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,235
財務活動によるキャッシュ・フロー	
社債の償還による支出	△5,000
自己株式の取得による支出	△1,125
配当金の支払額	△1,404
その他	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,526
現金及び現金同等物に係る換算差額	△326
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,525
現金及び現金同等物の期首残高	42,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,825

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)						
	酒類・ 調味料 (百万円)	バイオ (百万円)	物流 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	37,692	3,824	2,169	1,603	45,290	—	45,290
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	262	161	1,899	1,274	3,598	(3,598)	—
計	37,954	3,986	4,068	2,878	48,888	(3,598)	45,290
営業利益又は営業損失(△)	1,144	△132	73	18	1,104	(153)	950

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質に加え販売市場の類似性などを考慮して、酒類・調味料、バイオ、物流及びその他の4事業に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類・調味料	焼酎、ソフトアルコール飲料、清酒、ワイン、ウイスキー、中国酒、本みりん、食品調味料、原料用アルコール
バイオ	研究用試薬、理化学機器、研究受託サービス、遺伝子工学研究関連特許実施許諾対価料、遺伝子導入関連製品、キノコ、ブナシメジ特許実施許諾対価料、バイオ医食品
物流	貨物運送業、倉庫業、流通加工業
その他	ラベル、ポスター、カタログ、カートン、段ボールケース、包装紙、販促用品、不動産賃貸、健康食品

3. 会計方針の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)②に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が、酒類・調味料事業で56百万円減少し、バイオ事業で3百万円減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)③に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が、バイオ事業で31百万円減少しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計にしめる「本邦」の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載は省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載は省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	45,281
II 売上原価	28,009
売上総利益	17,271
III 販売費及び一般管理費	16,479
営業利益	792
IV 営業外収益	445
V 営業外費用	207
経常利益	1,030
VI 特別利益	614
VII 特別損失	1,244
税金等調整前四半期純利益	400
税金費用	98
少数株主損失 (△)	△58
四半期純利益	360

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	400
減価償却費	1,316
売上債権の増減額(増加:△)	629
たな卸資産の増減額(増加:△)	△271
仕入債務の増減額(減少:△)	720
未払酒税の増減額(減少:△)	1,068
その他	△2,196
小計	1,668
法人税等の支払額	△1,534
その他	214
営業活動によるキャッシュ・フロー	348
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形・無形固定資産の取得による支出	△824
有形固定資産の売却による収入	723
投資有価証券の取得による支出	△422
投資有価証券の償還による収入	1,000
関係会社株式・出資金の売却による収入	861
その他	△1,054
投資活動によるキャッシュ・フロー	283
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	3,000
配当金の支払額	△1,141
その他	46
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,905
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	3
V 現金及び現金同等物の増減額(減少額:△)	2,540
VI 現金及び現金同等物の期首残高	29,601
VII 現金及び現金同等物の期末残高	32,141

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

	酒類・調味料 (百万円)	バイオ (百万円)	物流 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	37,659	4,259	3,938	3,095	48,952	(3,671)	45,281
営業費用	36,812	4,293	3,831	3,059	47,996	(3,507)	44,488
営業利益又は営業損失(△)	847	△34	106	36	956	(163)	792

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

全セグメントの売上高の合計にしめる「本邦」の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載は省略しております。

c. 海外売上高

前年同四半期（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載は省略しております。